

平成30年度

学校だより

9月



平成30年 8月27日 9月号 (第512号)

横浜市立すすき野小学校

TEL045 (901) 6232 FAX 045 (904) 4693

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/susukino/index.cfm>

おこやかスマイル すすんで考え行動し きょうかし合う すすきっ子

自分を見つめ振り返る「竹の節目」

校長 三橋 国雄

7月の最後の朝会で、夏休みだからできること、夏休みしかできないことにチャレンジして欲しい。それぞれの学年にあった夏休みを有意義に過ごして欲しいと話しました。

今年の夏は異常気象が続き高温で熱中症が心配されたり突然の豪雨でびっくりさせられたりしましたが、子どもたちはどんな夏休みを過ごしたのでしょうか。これから教室で夏休みの振り返りなどの話が聞けるのではないかと楽しみにしています。

7月31日（火）青葉区水泳記録会が行われ、とても良い天気の中、私はプールサイドで、水しぶきを浴びながら快い時間を過ごしました。水泳記録会には4年生以上の子どもたちが参加可能で、すすき野小学校は18名の子どもたちが参加しました。参加した子どもたちがスタート前に見せたキリッと引き締まった表情。これから始まるレースに向けて集中し気持ちを高めている様子が伝わってきました。そして泳ぎ終わった後の安堵の笑顔。そこにはやり遂げた自信を感じました。当日は自己ベスト記録を更新した子どもたちもたくさんいました。子どもたちの躍動する姿と元気な応援の声に、暑さを忘れるひとときでした。

すすき野小学校は、2学期制ですので夏休み明けからは、前期のまとめの時期になります。子どもたちにとっては前期のまとめと次のステージ後期への心構えをしっかりとつくる期間です。夏休みまでの自分、今日からの自分、それぞれの姿を明確に意識することができるのでしょうか。成長するという事は、そういう心がけができるということです。担任をしている頃によく子ども達にそんなことを話していました。私の経験から、自分を確かに見つめることができる子は、日々成長していることが手応えとして実感できます。学習活動も、行動様ももちろん、学習集団のリーダーとしてだれもが認める存在になります。一目置かれるという表現が合うと思います。子ども集団とはいえ、そういう雰囲気をもっている子は頼もしいものです。この話と一緒に「竹の節目」の話をしたことがあります。竹はとても成長が早い植物です。節目ごとに伸びていきます。では、この節目は何のためにあるのか、それは、節目があれば「しなる」ことができるからです。ただ、伸びていくだけでは力が加わると折れてしまうのです。人であればねばり強い、心が柔軟であり自分で立ち直る力をもっている、ということです。自分を確かに見つめられる子は、こういう節目をもっているのでしょうか。だから、しなやかに学校生活を送ることができるのでしょうか。前期の振り返りをするこの時期に自分を振り返り、後期の目標をもつ、そういうことを考える時間を過ごしてほしいと強く願っています。

運動会に向けて様々な取り組みも始まっています。お子さん一人ひとりの可能性を見だし伸ばしていけるよう、教職員一同チームとなって教育活動に取り組んでいきたいと思っております。今までと変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。



